



獲りに行く! 真紅の桂川町長旗



▲新たに作成された優勝旗。王塚古墳壁画に描かれている三角紋様の縁取りが特徴。

第30回桂川町長旗争奪ほっともっと杯少年野球大会

【期 日】

9月13日(土)、14日(日)…予選リーグ戦
15日(月)、20日(土)…決勝トーナメント
※開会式…13日 8時～(総合グラウンド)

【試合場所】

総合グラウンド、第一町民グラウンドなど

伝統ある大会に 町長も熱戦を期待

「桂川町長旗争奪ほっともっと杯少年野球大会」は今年で30回目を迎える伝統ある大会だ。桂スポが設立された

翌年の昭和59年に第1回が開催されたこの大会は、桂スポとともにその歴史を歩んできた。現在は県内外を問わず多くのチームが参加する筑豊地区でも代表的な少年野球大会となっている。

今回、第30回大会を記念して、町では、優勝旗を新たに作成。節目となる大会に、井上町長も「練習の成果をいかになく発揮し、全力を出し切って頑張れ!」と選手たちにエールを送り、熱戦を期待する。

今年の参加チームは計60チーム。佐賀県や大分県からの参加もあり、1000人近い少年少女が参加し、優勝旗をかけて争う。

昨年のリベンジを果たし 優勝を目指す

昨年、桂スポは、予選リーグを勝ち進むも、決勝トーナメント2回戦で6-0で敗退。桂スポを破ったチームはそのまま勝ち進み優勝した。桂スポはこれまでこの大会で4回優勝しているが、平成

21年の第25回大会を最後に優勝から遠ざかっている。

今年の優勝の可能性については田中監督は、「戦力的には厳しい」と率直に語る。「うちのチームは6年生が少なく、力勝負になると負けてしまいます。しかし、決してあきらめません。桂スポの持ち味である『自分で考える野球』をしっかり実践すれば、チャンスはいくらでもあります」

では、プレーする選手たちの気持ちはどうか。主将の秋枝勇志くんは、「優勝します」と断言する。「今、チームは上り調子なんです。練習試合でもどんどん勝っています。大会試合中は、声を出して雰囲気盛り上げて、強い桂スポを見せたいです」

記念すべき第30回の地元開催の大会。真新しい真紅の優勝旗を手にすることを目指して、少年少女は今日も練習に励む。

※この記事は8月26日現在のもので、第30回桂川町長旗争奪ほっともっと杯少年野球大会の結果は、10月号でお知らせします。